

風雨襲來シテ農作物ハ固ヨリ農民生活ノ根本ヲ破壞シ去ツタ、
今秋カラ來春ニカケテ恐ラク闘争ノ波ハ一段ト高マルデアラウ、
組織未組織ヲ問ハズ凡テノ大衆ガ闘争ヘト押出ルデアラ
ウ、我々ハコノ契機ヲトラヘネバナラナイ、大衆ニハ今猶我々
ノ存在サヘ知ラヌモノガアル、全會ニ對シテ一種ノ恐怖ヲウケ
全農ニ對シテハモノ足ラナサヲ感ジテキルノカ一般大衆ノ意識
デアル眞ニ確固トシテ農民ノ利ヲ守リ邁進スル組織コソ全農民
ガ渴望シテキルノデアアル、カ、ル大衆的昂揚ト正シクカツ迅速
ニトラヘタキ感情ヲ捨テ、周圍ノ事情ニ顧慮遂巡ナク運動ヲ飽
クマデ大膽ニ押シ進ム可クヨキ形態ヲ發見シテ行動スルコトハ
我々ノ急務デアアル。

以上

昭
和
九
年
十
二
月
十
三
日
所
長
所
員
印

第 2897 號

昭和九年十二月十三日

大阪支所長 橋本龍保 到

福岡出張所長 清原進 殿

全國農民組合總本部福岡ノ東北山作農民救護
在阪無産團體總協議會開催ニ關スル件

